



大野 武田文英さん

「これが最後」が縁で

「若いころは銃を持って飛び回ったんです。エッ!」
 「十日町の方では盛んだったし、女の人もけっこう多かったから、そんなに珍しいことではなかった」とおっしゃる文英さんは十日町の出身で狩猟銃の免許を持っていた、れっきとしたハンターだったという。
 三年くらい前、それもすっかり「お上」に返上したというところだが、結婚するまでは「編み物教室」を開いて五十人近くのお弟子さんを抱えていたというからまた驚く。
 編み物教室を開いて六、七年たったころ、親せきの紹介でお見合いらしいことをするから遊びに来ないかと誘われたのが、

今の主人との出会い。
 「もうこれで最後にして、もう一度東京で勉強しよう」と堅い決意でその場に臨んだ」ということだったが、愛のキュービットのチョットしたいたずらで今日に至ったというのだ。
 そんな縁を「不思議なものですね」とおっしゃる文英さんも結婚八年目、セールズで婦りの遅い主人を待ってやるのが私の務め」と、控え目な内助の功で商売も順調。三月には三児目の長男を出産し、「せがれのない人生なんか絶望」と嘆いた主人に大きな貸しをつくれた。

「救助訓練」で鍛える

与板郷消防署に訓練施設



頼れる消防マンを目指して続けられる「救助訓練」

地上八尺、水平に張られた一本のロープ上を「ヨシツ」のかけ声とともにあつという間に渡り切ってしまう。「セーラー渡り」という方法の救助活動に必要な渡過訓練が行われていた。
 ことしの五月、与板郷消防署

に十五日の訓練塔と、関連する施設が約三百七十万円の経費をかけて設置されました。
 雨天以外はほとんど実施されるこの救助訓練について、石黒署長は、「消防職員には、果敢にチャレンジする勇気と、それを

なし遂げる体力が要求されます。日ごろの訓練は、こうした信頼される消防マンの育成が目的」と、説明された。
 写真の渡過訓練のほか、十五日の塔の上からロープを使って一気に降りる降下訓練、反対にこれを登る登はん訓練など、ハードな訓練日程を消化するころには、どのヤング消防士たちも汗だくで息をはずませていた。

機関士40年

小池栄一さん・鳥越

機関車のハンドルを握り続けて四十年あまり、「地方鉄道事業功労者」として、十月十四日、運輸大臣表彰を受けた小池栄一さん(鳥越・五七歳)は、昭和十五年、当時の長岡鉄道に入社。もちろん汽車の時代。「前か後かがわからないうぼまっ黒になって毎日帰って来た。これがオレの子かと思うほどだった」と、母親のミヨさんは当時を思い出す。最盛期には寺泊まで一日何往復もした小池さん、「鉄道の斜陽は寂しい。でももう少しの間がんばりたい」と、鉄道への愛着は強い。「運転は上手です、でも、事故が起きないよう、心配する気持は、今も昔も同じ」と、奥さんのトイさんの心配はもう少し続く。



町のすがた

(10月1日現在)

人口	男	3,351人(+1)
	女	3,546人(-7)
	計	6,897人(-6)
世帯数		1,654人(+2)
()は9月1日との比較		



第175号
毎月15日発行
定価1部20円

昭和57年10月15日
発行 新潟県三島郡三島町役場
(025842) (代) 2221
印刷 長岡市(株)中越タイプ社



> 48 <

漢・蘭方医「仁保家の人々」

医は仁術である。脇野町の共同墓地には、蘭方医であった河内蘭齋と、漢方、蘭方医であった、仁保家の墓が安置してある。
 西洋医学の発達は、蘭学の研究にはじまり、これに伴って、医学とその技術が導入されたのが蘭方医学であった。
 江戸時代、人体の解剖は固く禁じられていたため、人間の五臓六腑は全く未知の存在であった。
 つまり蘭方医学の導入によって、日本の医学が飛躍的に発達を遂げ、やがては日本が近代国家として成長する源をなしたと考えられる。
 当町では、その先んべんをつけた人に、河内蘭齋と仁保家の人々をあげることができる。河内蘭齋については別の機会にゆずるとして、ここでは、仁保家の人々について触れてみることにする。
 仁保春庵は脇野町の人で、文政九年生。明治六年、時の県令楠本正隆が実施した「県下医療状況調べ」の折にこれにこたえて、養子の春栄と連名

片桐英治

で次のように届け出ている。
 父宗徳は、医を静岡眼科、渡辺立郷に入学三年。同所眼科、土生玄碩へ入学二年。武州入間郡三河島村にて旧代眼科、鈴木道運へ入塾十年。その後帰国開業いたしました。
 兄寛祐は、親の志をつぎ、東京蘭方医、伊藤玄朴へ入門四年。京都漢方医、宇津木昆蒙へ入学三年。同所産科、水原三折へ入学二年。後帰国開業いたしました。
 私(春庵)は、天保十一年庚子年三月より弘化三丙午年五月まで業を父と兄に学び、父死後の後、嘉永六年庚子年四月、東京両国横山町二丁目新道、花田仁兵衛借地に寄留開業いたしました。慶応三丁卯年七月、兄寛祐死去につき帰国、今まで七年開業いたしました。
 春栄は、元治元年甲子年八月より業を養父、仁保春庵に学び、ただ今以って勉学中でございます。右の通り、相違ございません。この段申し上げます。
 この届からも、当時の医学界の姿と、蘭方医学の存在位置を知ることができる。

遊びの効用

「遊び」とは？ 学者の間にもいろいろな説や考え方があろうです。それらに共通しているのは本人の自発性、つまり「意義や目的にかかわらず、意欲のおもむくままに行動する(広辞苑)点にあると言えそうです。
 例えばマジシャンをするにしても、自ら進んでやるのと同じ上司の命令で進まないままやるのでは、勝ち負けにかかわらず面白さや満足感に大きな違いがあります。
 また、遊びという、仕事との対比で考えられることが多いようです。仕事は善、遊びは悪、という考えが依然としてあるくらいですから。
 しかし、こうした考え方、価値観も、最近では、遊びを通して仕事上のストレスを解消する。明日への活力を生む源とする。という認識へと変わりつつあります。
 自動車のハンドルの「アソビ」が一見欠陥のようにみえても重要な役割を果たしているように、ふだんの生活の中にこうした「遊びの効用」を積極的に取り入れれば、「心身症」など無縁のものとなるでしょう。もともと、積極的過ぎる人は、ほどほどに。

広報カレンダー

Calendar table with columns for month (10月, 11月) and day (15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31). It lists various events such as '与板保健所総合相談日', '早朝ランニングのつどい', and '行政相談'.

※センター→総合福祉センター、町体→町体育館

今月の納税

Table listing tax payments: 県・町民税 (第2期), 国民年金保険料 (第4期), 水道料 (10月分), ガス料金 (10月分).



100人を超える子供たちが参加している「少年教室」

柔道小学高学年の部優勝

「与板地区柔剣道大会」で

九月二十六日、与板町民体育館で開かれた「与板地区柔剣道大会」、柔道小学高学年の部を果すなど、柔道、剣道ともすばらしい活躍でした。参加した小学生らは、毎週水曜と土曜の二回、町体育館で開かれていた「少年教室」に通っている子供たちです。



国体に出場した柳昇さん

鳥根団体に出演

九月三日から鳥根県で開かれた国民体育大会に、鳥根の柳昇さん(六二歳)が銃剣道の県代表として出場、活躍されました。三人一組の団体戦、二回戦が緒戦の新潟県チームは、柳さんが見事勝ったものの、惜しくも一―二で愛知県に敗れました。健闘された柳さん、ご苦労さまでした。

今月の保健行事

Table of health events with columns for '対象' (Target), '内容' (Content), 'とき' (Time), and 'ところ' (Location). Events include vaccination, health checkups, and nutrition lectures.

中風にも前ぶれが

最近では徐々に脳の血管が詰まる脳梗塞(脳血栓など)が増え、その後遺症で仕事ができなくなる人が多くいます。この脳梗塞は、発病の数日から数か月前に、視力がおちる。ろれつが回らない。めまいがある。物が二重に見えるなどの症状があらわれることが多いです。

健康伝言板



お知らせ

三島町役場 2221 (代表) 日吉支所 長岡46-2049 ガス企業団 2671 水道企業団 与板2259

「更新時講習」簡素化

十一月一日以降、更新期限がくる運転免許証の「更新時講習」が簡素化されます。簡素化の内容は、免許証更新時に県内の交通情報に関する資料の配付と、簡単な説明を受けるだけで手続きが済むというものです。

簡素化講習の対象者は、警察庁から事前に所轄の警察署にリストが通知されていますから、申請時に窓口でわかります。この制度、優良運転者にとっては気持ちのよい「善政」。当り前

ただし、これには次のような条件があり、この条件を満たさない人と適用されません。更新前三年間が無事故・無違反であること。更新が二回目以上であること。過去に危険を生じさせるおそれのある運転者という理由で「停止処分」を受けたことのない人。

「町政バス」二十九日に実施

二十三日までに申し込み

十月二十九日(金)に、ことし二回目の「町政バス」が実施されます。募集人員は約二十五人。申し込みは二十三日までに企画調整課。先着順に定員になり次第し

二つの図画展に力作

文化祭に二校で展示



青少年育成三島町民会議と町保護司会が共催した「明るい家庭図画展」と、町消防団が主催した「防火図画展」の入賞者がこのほど決まりました。これは、子供たちの夏休みに利用して、明るい家庭づくり、防火思想の普及徹底を図るため行われたもので、町内全部の小



写真のほか沢山の作品が寄せられた「図画展」

参加される方は、昼食と簡単なメモの準備をして、当日午前九時までに役場分館にご集合ください。終了予定は、午後四時の予定です。町では初めての「全国物価統計調査」が、十一月中旬に実施されます。



この調査は、全国一斉に行われるもので、町内で約四十店の一般商店や理髪、美容店などの店を抽出して調査をお願いするものです。

調査品目は、ふだんの日常生活に必要なほとんどの商品とサービス料金で、同日における全国各地域間の物価格差、流通段階別の価格等を明らかにし、物価を中心とする経済施策の基礎資料とするものです。調査をお願いする各商店等のみなさんには、たびたびの調査で大変ご迷惑のこととは思いますが、調査員がお願いに伺いました折にはご協力をお願いいたします。なお、調査員は、藤川の小熊恵美子さんです。

由香里、片野優子、原田瑞子、加藤茜、棚橋絵美、中野直、岡本涉、松村亮子、片野時江、四年、青柳伸也、齋藤克久、山田淳、棚橋則昭、中村潤子、難波直美、高橋康弘、原田一、星野裕子、小原尚樹、五年、澤岡、難波史暁、古見隆、元井孝志、河内みき子、高橋由美子、片沼広幸、井上巧、河内忠之、六年、結城美和子、青柳久子、中野美恵子、中川卓也、貴島恵美子、齋藤由美子、原田明子、齋藤奈緒、防火図画の部 一年 米持